



第54回 Salone del Mobile.Milano 閉幕

第54回ミラノサローネ国際家具見本市は、大盛況の中閉幕しました。
来場者数は310,840人(メディアの来場者数を含まない)、土日の一般開放日の来場者数は30,881人を記録しました。

また、海外からの業界関係者の来場者数は全体の69%を占め、その数の多さはもちろんのこと、その購買力の高さも出展者から評価されました。
懸念されていたロシアからも多くが来場、来場者数一位は中国、そして二位にドイツが飛躍的な数を記録しました。更には、中東からサウジアラビア、レバノン、エジプト、そしてアメリカや英国、インドからの来場者数にも増加が見られました。

「イタリアを初めとする世界トップブランドが集結するイベントが、どれほど魅力的で重要視されているかを再認識できる結果が出せた。」と、ロベルト・ズナイデロ社長は喜びを表明しました。更に、「出展者は来場者の質の高さに満足を示した。ここ数年の厳しい経済状況を乗り越え、この6日間の見本市を通して好業績を収めることができ、サローネが景気回復の第一歩を踏み出す場となった。」と加えました。

開幕初日に会場を訪れたマッテオ・レンツィ首相も、出展者を対象にした演説の場で景気回復について触れ、家具分野において国内市場の発展と国外輸出プロモーション活動に対する支援を約束しました。また今年、政界から多くの大臣や関係者も会場を訪れ、業界が非常に高く評価され、国にとって重要なイベントであることを証明しました。

第18回目を迎えたサローネサテリテでは、「ライフ・プラネット」をテーマに、35歳以下の若手デザイナー700人が今年もその才能を披露しました。

Workplace3.0ではミケーレ・デ・ルッキの巨大ラビリンス、「The Walk」が会場を埋め、ダリオ・クラートロが手がけた「IN ITALY」では国内64の企業やデザイナー、プランナー、建築家たちのインスタレーション・アプリを発表しました。レッツェ、ミラノ、ローマ、ヴェニス、オルチア溪谷(シエナ)の5都市を舞台に5つのインテリアを披露。アプリのダウンロードはこちら: <http://fipad.lynxitalia.it/InItaly/download.aspx>

そして市内では、サン・フェデーレ広場で公開された、アッティリオ・ストッキのインスタレーションイベント、「フアヴィツラ、To Every Light a Voice」が会期中通して10,000人以上の来場者を迎え賑わいました。最後に、Salone del Mobileも協賛している史上最大のダ・ヴィンチ展、「レオナルド・ダ・ヴィンチ 1452 - 1519」は、4月16日から7月19日までミラノ王宮にて開催しています。

2015年4月 ミラノ
マルヴァ・グリフィン・ウィルシャー